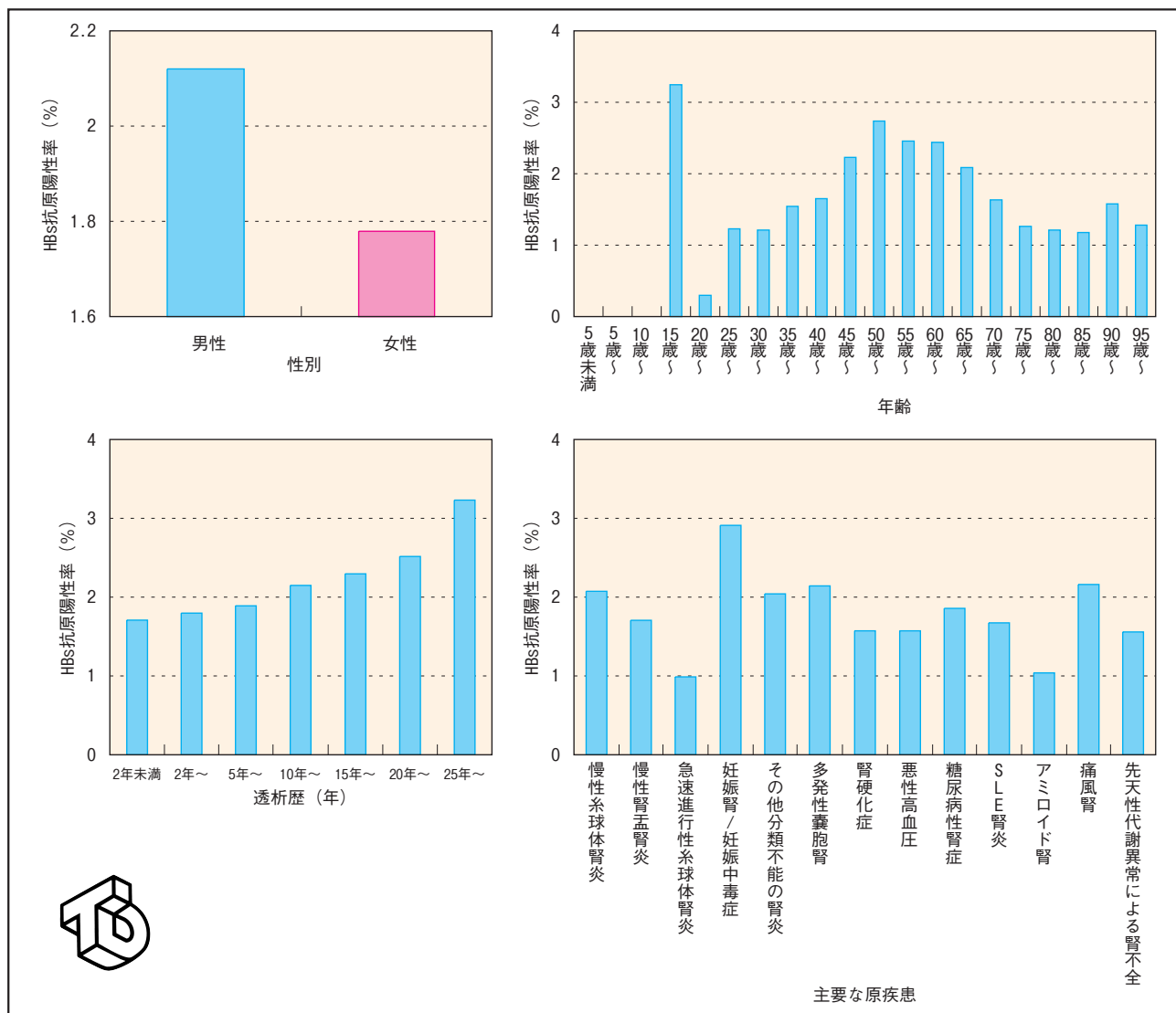


2) 肝炎ウイルス調査の結果

(4) 2007年末におけるHBs抗原陽性率と性別・年齢・透析歴・主要な原疾患の関係 (図表29)



性別	男性	女性
HBs抗原陽性率 (%)	2.12	1.78

年齢	5歳未満	5歳～	10歳～	15歳～	20歳～	25歳～	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～
HBs抗原陽性率 (%)	0	0	0	3.26	0.30	1.25	1.23	1.55	1.67	2.24

年齢	50歳～	55歳～	60歳～	65歳～	70歳～	75歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～
HBs抗原陽性率 (%)	2.76	2.48	2.46	2.11	1.65	1.28	1.23	1.18	1.60	1.30

透析歴 (年)	2年未満	2年～	5年～	10年～	15年～	20年～	25年～
HBs抗原陽性率 (%)	1.70	1.80	1.89	2.15	2.29	2.51	3.23

主要な原疾患	慢性糸球体腎炎	慢性腎盂腎炎	急速進行性糸球体腎炎	妊娠腎/妊娠中毒症	その他分類不能の腎炎	多発性嚢胞腎	腎硬化症
HBs抗原陽性率 (%)	2.08	1.71	0.98	2.91	2.05	2.14	1.58

主要な原疾患	悪性高血圧	糖尿病性腎症	SLE腎炎	アミロイド腎	痛風腎	先天性代謝異常による腎不全
HBs抗原陽性率 (%)	1.58	1.86	1.67	1.03	2.16	1.55

患者調査による集計

解説

2007年末における慢性透析患者のHBs抗原陽性率は、男性が女性より高値で、64歳まで年齢とともに増加し（15～19歳は陽性例/92例と症例数が少ない）、透析歴の増加とともに増加した。原疾患では妊娠腎が最も多かった。